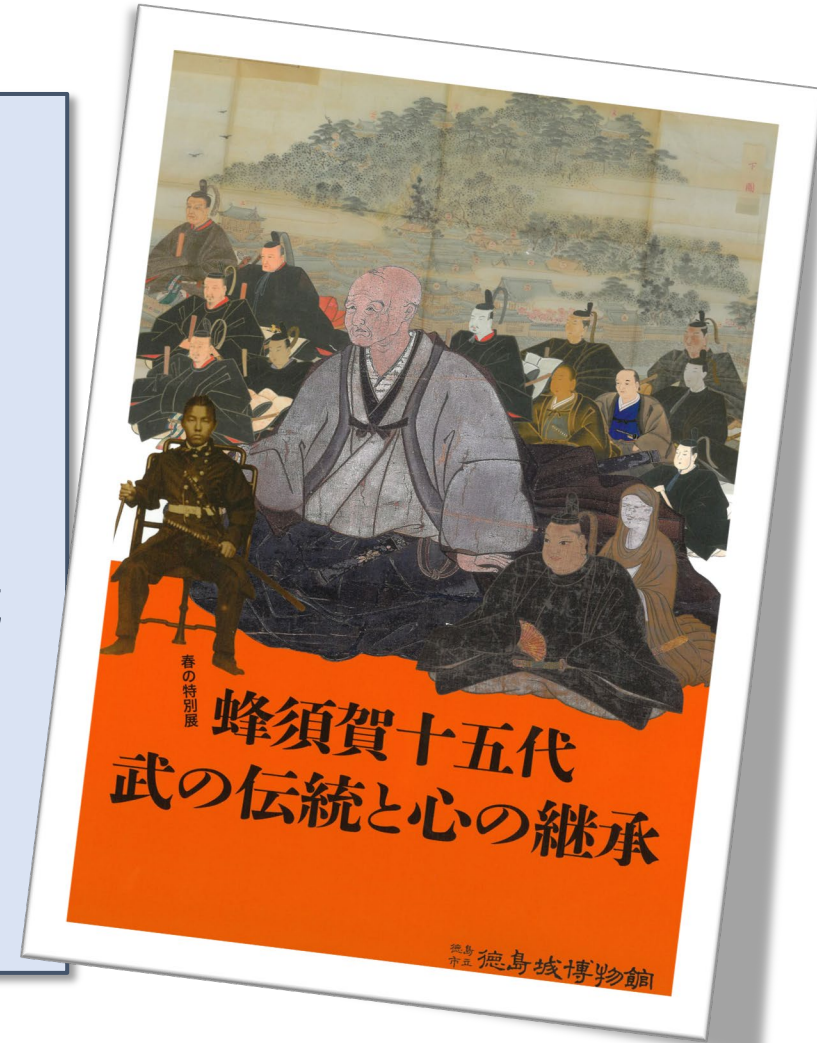


徳島市立徳島城博物館 特別展図録刊行

春の特別展「蜂須賀十五代」図録の刊行について

注目ポイント

- ◇特別展「蜂須賀十五代-武の伝統と心の継承-」は、藩祖家政から14代藩主茂韶まで15人の殿様の業績や人となりを紹介。6月4日より後期展(8代藩主宗鎮以降)を開催。出品数72点。
- ◇図録はA4判・24頁。15人の肖像画と人となりを象徴する資料を取り上げるとともに、オリジナルコラムを23話紹介。系図を載せ、蜂須賀家の歴史をコンパクトに知ることができる。定価500円。
- ◇15人全ての殿様に焦点をあてた図録の刊行は、これが初めて。



春の特別展「蜂須賀十五代」図録の刊行について

主な出品資料

「5代藩主蜂須賀綱矩画像」(徳島城博物館蔵)

コラム「鳥肉好きの殿様」

享保15年(1730)、前藩主綱矩の古希の祝膳の汁物と煮物に鳥肉が入れられていた。それは、「御好被遊(お好み遊ばさる)」、つまり綱矩の好物だった。

豚肉や牛肉を食べなかった江戸時代、豆腐や味噌とともに鳥肉は貴重なタンパク源だった。

綱矩は、歴代最長の50年も藩主の座にあった。職責を全うできたのは鳥肉を食べ英気を養っていたからかもしれない。

問い合わせ先 徳島城博物館(電話:088-656-2525)



春の特別展「蜂須賀十五代」図録の刊行について

主な出品資料

「紫系威大鎧」(徳島城博物館蔵) 徳島市指定文化財
8代藩主蜂須賀宗鎮所用。保存状態が良好で、豪華な鎧兜。
胴の獅子図は、江戸時代の有名な絵師、円山応挙筆。

コラム「殿様の身長」

江戸時代の人々の平均身長は、150～155cmとされる。
なかには大柄な殿様もいた。8代藩主宗鎮や12代藩主斉昌
は、160～170cmと推定される。
殿様の鎧兜は、今風に言えば「オーダーメイド」なので、観察
すると持ち主の身長をうかがい知ることができる。

問い合わせ先 徳島城博物館(電話:088-656-2525)



春の特別展「蜂須賀十五代-武の伝統と心の継承-」

展覧会の詳細

- 1 会 期 令和8年4月11日(土)～7月20日(月・祝)
午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 2 休館日 毎週月曜日(ただし7月20日は開館)
- 3 会 場 徳島城博物館 企画展示室、常設第1・2展示室
- 4 出品数 72点
- 5 入館料 大人500円 高校・大学生300円 中学生以下無料 ※20名以上の団体は2割引

徳島市立徳島城博物館 特別展図録刊行

春の特別展「蜂須賀十五代-武の伝統と心の継承-」

関連イベント

◇記念講演会

①「研究速報！装束台帳が語る殿様の鹿狩の謎」

②「奥からみた蜂須賀家」

日時:7月11日(土)午後1時30分～午後3時30分

講師:①松永和子(当館学芸員)

②根津寿夫(当館主任指導員)

◇展示解説

日時:7月12日(日) 午後2時～午後3時

講師:根津寿夫(当館主任指導員)

※参加費無料、ただし入館料が必要です。

